

忠霊塔の秋祭り

万餘の遺族が参拜

宗連で式典 三城の盛儀

明治維新以後大東亞戦争までの間旧軍人、軍族、学徒の身で国に殉じた本縣出身の五万七千余柱を祀る長崎縣忠霊塔の秋季大慰靈祭は、縣殉國慰靈奉賛會が主催、縣下各市町村、大村、竹松兩部隊、地元連合婦人會、青年團連絡協議會、星櫻會、本縣佛敎青年團、各種交通機關等諸団体協力のもとに、去る十月二十日午前十一時から三城の忠霊塔で、しめやかなる裡にも盛大に執行された。

この日は絶好の秋日和で、早朝からわが夫、わが子、に對面せんものと縣内各地から集つた遺族は約一万余に達し、大村驛頭から参道一帯は紋服の波に埋まつた。

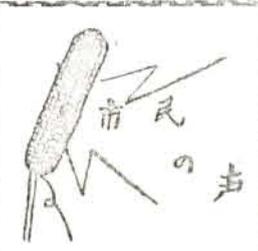
式場は正面祭壇に各官公衛長、團體から贈ら

れた花環が飾られ、紅白の吹流しが秋空を彩つてゐる。

定刻十一時、祭典委員長大村市長の式辭で開式、特別参加の縣警本部ブラスバンドの演奏する、國の鎮め

の曲の後、久田松(町三區踊り町)人形踊(本小路)豊年踊(中央商店街)忠臣蔵(青年商工會講所)元祿花見踊(松並第一婦人會)並第二婦人會)博多ソウランマンボ(松並第二婦人會)博多ソウランマンボ(水田婦人會)等が特設舞臺で繰りひろげられ、境内廣場では剣道、柔道、弓道の奉納試合が行われた。

(福社事務所)



御花の御禮
恒例のおくち祭に、今年も踊りとして人形出演いたしました。この御花の御禮、厚く御礼申し上げます。

こと出ました。一々御面接御申上げなければならぬので、市民の皆様の御好評を受け、神社をはじめ各種団体、及び市民の皆様の御花を頂戴致しまして無事に二十三日に解散致す。

△生花(大村葬儀會)
△幟(大村傷痍軍人會)
(福社事務所)

農繁期の犯罪防止

戸締りは厳重に

農家の皆さん、いよいよ農繁期には大部分の家が留守となりお忙しい時期になつて参りますので、空巣狙いや押賣その他が多く發生する

ことか予想されます。そこで次の事項に、よく注意して頂いて、犯罪にかからないよう防犯運動に御協力を御願

い致します。

①家庭の戸締りや、物置倉庫等の不備な、ところは完全に致しまし

よう。

②寝る前には、もう一度戸締りを確かめまし

よう。

③夜間は、外は明るく内は暗くするように致

しませう。

④老人や小さい子供は、なるべく留守番をして家を空かさな

いように致しまし

よう。

消防團長に田添氏

10月21日市長より辞令を交付

大村市消防團では、團長朝長二氏が去る九月三十日で任期満了となつたので、後任團長に田添氏の略歴次の通り

田添氏は、大村市竹松原口郷居住十五歳の三第二項に基

き團員の代表である各分團長の間で選挙の結果、田添廣次氏が當選し消防團の推薦があつたので去る十月二十一

日、大村市長は全氏を大村市消防團長に任命し辞令を交付した。

田添團長の略歴次の通り

大村市竹松原口郷居住十五歳の三第二項に基

き團員の代表である各分團長の間で選挙の結果、田添廣次氏が當選し消防團の推薦があつたので去る十月二十一

日、大村市長は全氏を大村市消防團長に任命し辞令を交付した。

田添團長の略歴次の通り

大村市竹松原口郷居住十五歳の三第二項に基

き團員の代表である各分團長の間で選挙の結果、田添廣次氏が當選し消防團の推薦があつたので去る十月二十一

日、大村市長は全氏を大村市消防團長に任命し辞令を交付した。

畜産九州大會

鶏は一等、豚は二等

九月二十四日諫早市に於て縣主催の第三回縣種豚共進會が行なわれ大村より六頭出品、團體、個人共に歴史的に優勝した。

優勝の種豚は左の通りである。

優等藤尾正(西大村) 一等上野安雄(西大村) 櫻馬場(吉岡常松) 西大村上誠訪(大塚) 次雄(西大村坂口) 二等松尾勇(西大村下誠訪)

右の内より十月十七日から鹿児島で行われた九州連合共進會に縣代表として藤尾正(西大村上誠訪)上野安雄(西大村櫻馬場)が出場、二等に藤尾氏、四等に

上野氏が入賞した。

なお種鶏も九州連合共進會に縣代表として左の四番が大村市より出品された。

田崎 積(三浦) 野氏(二等)に田崎、神止氏が入賞した。

下野 源治(竹松) 神近 義光(西大村) 松浦 宏(大村) この中一等は松浦、二等は田崎、神止氏が入賞した。

田崎 積(三浦) 野氏(二等)に田崎、神止氏が入賞した。

下野 源治(竹松) 神近 義光(西大村) 松浦 宏(大村) この中一等は松浦、二等は田崎、神止氏が入賞した。

田崎 積(三浦) 野氏(二等)に田崎、神止氏が入賞した。

下野 源治(竹松) 神近 義光(西大村) 松浦 宏(大村) この中一等は松浦、二等は田崎、神止氏が入賞した。

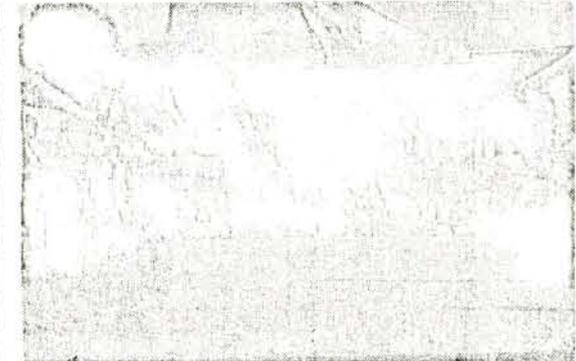
入場券の半片は必ず受取つて下さい

あなた方が支拂つた映画券の入場料金の内には入場税(国税)が含まれております。入場税は入場の際半片を受け取ることに由つて、正確に國の収入になる仕組みになっております。入場料金は、大体入場料50圓に對し5圓位、100圓に對し20圓位であります。入場料金の内には含まれておりますので、入場税を支拂つたしるしに、是非入場券の半片を受取つてから入場致しましょう。

皆様は、税務署や、市役所等に色々な種類の税金を納めるとき必ず領收書を受け取ることをお忘れにならないで、それと同様に折角支拂つた入場税の領收書を相対する入場券の半片を必ず受け取つて下さい。入場税は一應國の収入になりますが、人口の比に應じて直ぐ長崎縣に返つてきて色々な縣の事業費として、皆様の生活を幾分でも豊にするのです。半片を受取つても何の役にも立たないから、また私一人位という氣持にならないで、半片のもつ重要な役割を充分認識していただいて、今日から一人残らず是非入場券の半片を受け取つて下さい。

(諫早税務署)

忠霊塔の秋季大慰靈祭



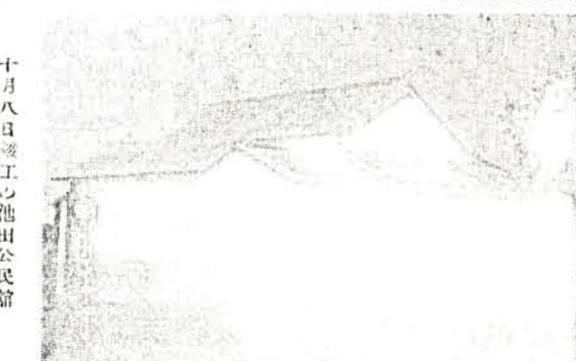
(上) 拜礼をすました宗連各部長 (下) 祭典委員長大村市長の拜礼



(上) 縣内各地から参列の遺族達 (下) 剣道の奉納試合



(上) 奉納試合前に拜礼する柔道選手達



十月八日竣工の池田公民館